

即時発表
2009年04月22日

野村アセットマネジメント、グローバルな資産運用ビジネスにチャールズリバーIMSを導入

外国株式のフロント及びミドルオフィスの業務自動化のためのシングルソリューション

米・ボストン、英・ロンドン、豪・メルボルン、仏・パリ、シンガポール、東京
—2009年4月22日—

機関投資家向けに資産運用ソフトウェアをワールドワイドに提供し、数々の受賞歴を誇るチャールズリバーデベロップメント（本社：アメリカ/ボストン・マサチューセッツ州、プレジデント兼 CEO：ピーター・ランバertas、以下「チャールズリバー」）は、国内最大手の資産運用会社、野村アセットマネジメント株式会社（本社：東京、執行役社長兼 CEO：吉川 淳、以下「野村アセット」）がフロントおよびミドルオフィスの運用管理業務の自動化を目的として Charles River Investment Management System（以下「チャールズリバーIMS」）を導入し、本番稼働を開始したことをお知らせいたします。

複数のフェーズで構成されるプロジェクトにおいて、今回のフェーズは、ワールドワイドに資産運用ビジネスを展開する野村アセットの東京本社で発注される外国株式を対象にチャールズリバーIMSを導入するものです。チャールズリバーIMSの優れた投資判断サポート機能や効率的な取引執行管理機能、リアルタイムのプレトレードコンプライアンスチェック機能をシングルプラットフォーム上で利用することにより、システム利用者の利便性の向上が実現しました。このプロジェクトは、グローバルな資産運用ビジネス基盤の高度化を目指す野村アセットの段階的プランの第一ステージにあたります。

チャールズリバーIMSは階層型の SOA（サービス指向型アーキテクチャー）を採用しており、業界標準のウェブサービスとインターフェースにより、野村アセットの社内外の各種システムとの接続を実装しています。

本件に関して、野村アセットの後藤公一常務は「我々は、シングルプラットフォームで最良執行が約束される最善のソリューションを求めていました。そして日本のマーケットを理解しているチャールズリバーを選択しました。さらに、チャールズリバーが、我々の必要な場所かつ必要な時間帯にクライアントサポートのサービスを提供していることも決め手の一つとなりました。東京、ロンドン、ニューヨーク、またはシンガポールのチャールズリバーのスタッフに電話で問い合わせれば、エキスパート達によるサポートをリアルタイムで受けることができます。」と述べています。

チャールズリバーのアジアパシフィック・マネージング・ディレクター、キャメロン・フィールドは「野村アセット様にチャールズリバーIMSを選んでいただいたという事実は、これまでの私どもの日本市場への一貫した取り組みを反映したものだと言えます。チャールズリバーは、大切な日本のお客様に最高水準のサポートを提供すべく日々尽力しています。今回の導入を通じ、日本そして世界中のマーケットの要件に対応し、野村アセット様の極めて高いレベルのガイドラインやリスク管理をサポートするプラットフォームを提供することができました。」と述べています。

チャールズリバーIMSは、国内18社、アジアパシフィック50社強を含め、グローバルで315社を超えるお客様にご利用いただいています。アジアパシフィックにおいては、日本語・英語もしくは中国語・英語のバイリンガルを多数含む50名以上のスタッフを擁し、地域本社であるメルボルンの他、東京、シンガポールの各オフィス、シドニー、ブリスベンの各拠点を通じて様々なサービスを提供しています。

野村アセットマネジメントについて

野村アセットマネジメント株式会社（野村アセット）は1959年に設立され、機関投資家および個人投資家に対し、株式投資および債券投資両面に関する投資顧問サービスや投資信託サービスを提供するマルチ・プロダクト運用会社です。野村アセットは、日本をはじめ太平洋地域に優位性を有し、世界中に拠点を有する国内最大の国際的な投資運用会社です。またアジア、欧州、北米において強固な地位を有し、グローバル化の先駆者としての地位を築いています。野村アセットのマネジメントチームは、全てのファンドに対し最適な投資パフォーマンスを実現するため、広範なりサーチネットワーク、総合的な専門性、特化した技術を駆使し、市場ファンダメンタルズの堅実なりサーチおよび分析に全力を挙げています。

チャールズリバーデベロップメントについて

チャールズリバーは、投信・投資顧問や銀行、ヘッジファンド、ウエルスマネジメント、生・損保、年金基金をはじめとする30余カ国、315社以上の機関投資家のお客様にソフトウェアとサービスを提供し、これまで数々の業界賞を受賞しています。Charles River Investment Management System(以下、チャールズリバーIMS)はあらゆる有価証券に対応した総合的なフロント・ミドルオフィス向けのソフトウェアプロダクトで、ポートフォリオマネジメントとモデリング機能を備えたCharles River Manager(チャールズリバー・マネージャー)、オーダーマネジメントと電子取引をサポートするCharles River Trader(チャールズリバー・トレーダー)、取引執行前後、及び日締めタイミングでコンプライアンスチェックを実行するCharles River Compliance(チャールズリバー・コンプライアンス)、約定照合・コンファメーション・決済プロセスの一元管理を行うCharles River Post-Trade(チャールズリバー・ポストトレード)で構成されています。また、チャールズリバーIMSは、ブローカーニュートラルのCharles River Network(チャールズリバー・ネットワーク)を通じ、FIX経由のグローバルかつリアルタイムの電子取引に対応しています。

チャールズリバーIMSは最新のサービス指向型アーキテクチャー(SOA)を採用、拡張性に優れ、お客様の24時間365日のオペレーションをサポートします。また、メッセージベースのAPIとウェブサービスにより高速のシステムインターフェースを実装しています。

この他に、当社ではインプリメンテーション、アプリケーション管理及びホスティングサービスを提供しています。1984年に設立され、ボストン(本社)、ロンドン、メルボルン、パリ、シンガポール、東京に主要なオフィスがございます。

最近の受賞歴は以下のとおりです。

“ベスト・フロントオフィス・統合プラットフォーム”及び”ベスト・バイサイド・オーダーマネジメントシステム”(バイサイド・テクノロジー・アワード2008、2007)

“ベスト・バイサイド・オーダーマネジメントシステム”(トレードテック2008、2007)

“フィンテック・トップ100”(アメリカンバンカー/フィナンシャルインサイト2008、2007)